

平成 23 年 8 月

日本に帰化して長き南瓜かな
生身魂扱ひ拒否の傘寿かな
いよいよ古び新豆腐売るラッパ
筆不精を侘びる文月のメール
結局は計画倒れの夜長かな
野分となれず被災地に草の無く
節電の風生ぬるき扇風機
夕立や一句作れと吾を急かす
季語の季を納得しつつ髪洗ふ
自力では鳴れぬ風鈴鎮もれり
空蟬をしがみつかせて老大樹
箱庭を置き箱のやうな庭
行水のことをシャワーと和英辞書
スイッチのどれがオンオフ扇風機
香水の良く減る壘と減らぬ壘
チリと言ふだけ横着の風鈴は
夏館完成外壁白く塗り
津波にはひとたまりなし砂日傘

短縮ダイヤル短夜の携帯は
炎天を睨んでどうするつもりなの
流星を大気圏突入とは不粋
残暑と言ふのかこの夏が冷夏でも
なまみたまと読み違えられイキミタマ
生の身に魂宿しイキミタマ
秋めけり二の腕の色褪せもして